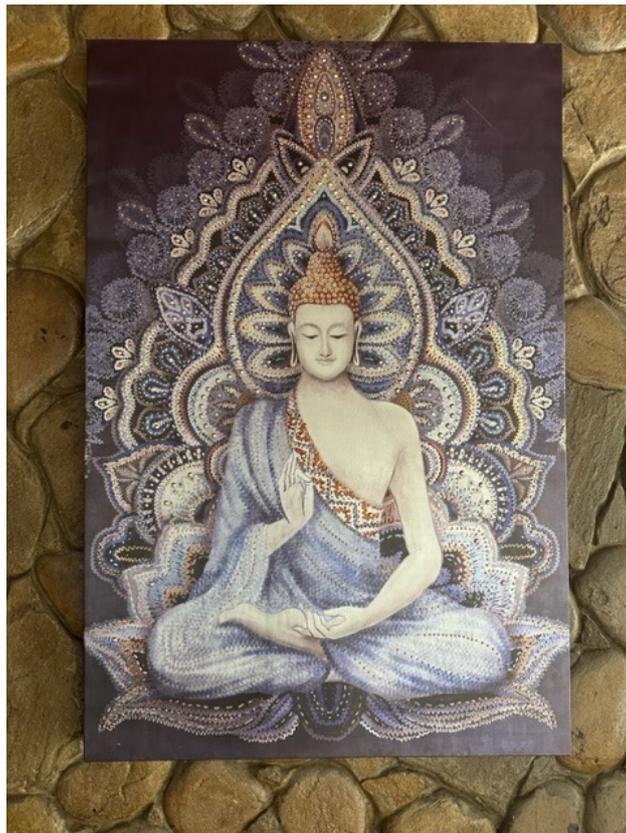


水源禅師法話集 125

(2024年3月3日 web 法話)

2024年5月28日

一乗禅の会



目次

水源禪師法話

虚雲大師	3
入我我入は教外別伝、不立文字	5
六祖壇経 般若品	7
質疑応答 1	10
質疑応答 2	10
質疑応答 3	11
質疑応答 4	11
事務局より	16
質疑応答 6	17
インドのカーリー神	19



水源禪師法話

虚雲大師

それでは、2024年3月の法話をしたいと思います。六祖壇経を少し読んでみたのですが、内容がとても深くて。もし、六祖大師から直に聞くことが出来れば、ほとんどの人は、凄い所まで悟るのでしょうね。特に今回、日本では般若心経、般若心経・・・唱えていますけど、その解説がまた、凄いのですね。この凄さは体験によってだけ分かるようになっていきます。もし、お釈迦様が直接、般若心経を唱えて下さったら、ほとんど皆さんは阿羅漢になるぐらい。そう思います。

今まで、一生、仏縁があつてなんとかここまでやって来られました。一番の最大の因縁は、私の母から仏教の凄さを教えて頂いて。そして、高野山の女人堂の先生ですね。深く心と心の伝達を受けて。それから、仏道の旅が始まったわけですけど。私の旅を振り返ってみましたら、全てが繋がっているのですね。文殊菩薩の五台山に行つて、普賢菩薩の峨眉山。普陀山観音の上海沖の島。それから地藏菩薩の九華山。全部繋がっているわけです。六祖大師の偉大な弟子達が密教と中国仏教を一体化させようと。又、儒教と仏教を統一させようと。私が世界を歩いて、心はやっぱり同じ方向で。



虚雲徳清大師（きょうんとくせいだいし、1840 - 1959）

特に虚雲大師は日本の高野山にまで来て修行されたのですね。だから、日本ではあれこれと言っていますが、100年前に出生され、1959年に円寂された、偉大な禅宗における即身成仏されたこの方の話を聞いてみたら、全く穢れが無く、この方は

曹洞宗の法衣を授けられ、それに臨済宗、法眼宗、雲門宗、滙仰宗という五つも繋いで。結局、曹溪宗がトップに立っているのです。120 歳まで生きられて。三朝の国師をやっているわけですね。清朝時代に。国民党、共産党の毛沢東も招待した国師になっているわけです。中国では仏教を弾圧していたけれど、ところが先生になっているわけです。国の行く末を全部指示して全部当たっている。120 歳で骨折して、病院に行っているのですが、血液を調べたら、13 歳の子供の血液と一緒に。山で暮らして、開墾して五つのお寺を造った。泥んこの道を歩くのだけれど、その靴には泥が一つも付いていないと。そう言う方がおられるのです。慧能大師様の後、沢山の偉大な僧侶が出たと思います。

それで、六祖壇経を南華寺で頂き、南華寺が今、曹溪宗の本山になっています。虚雲大師様がそこで即身成仏されて全身舍利となって、座してお居ります。又、憨山徳清(かんざん とくせい 1546- 1623) 大師も即身成仏されて同じく全身舍利となって、座しております。今から 500 年前。そしてもちろん慧能大師様もそこに全身舍利となって、座しております。

定の事を説明しましたが、禪定に入ったら、自分の身体が石のようになってしまうわけです。そして、法随観を何時間もやるわけですから、石の中に入って座るわけですが、外の事は全部見えます。そして特に、最近、慧能大師様を、内臓も見えるスキャンをして見たら、内臓がちゃんとあるわけです。腐っていない。エジプトのミイラの場合には内臓を取って処理をするわけですが、



南華寺

中国の南京の牛首山にお釈迦様の舍利(頭頂部の遺骨)が祀られています。その頭蓋骨を千倍の顕微鏡で視たら、五仏がちゃんとあるわけです。結晶化して。頭頂部のポコッと。私の頭のように。そこにちゃんと座られている。だから、今、私達は、仏教はなんだかんだと言っていますけど。

結局、頭で考えた仏教が日本では大流行しているみたいで。六祖大師様の壇経を読んだら、まー想像を絶する事がいっぱい書かれている。何故かと言ったら、体験でしかそれが分からないようになっている。特に空と虚空の事もしっかりと、どういう繋がりか述べていますけど。これを理解するにはヴィパッサナーを通過する必要があります。やっぱり私がそれを因縁で体験出来たのは、アフガニスタンで教えてもらいました。弘法大師様が大地を駆け巡り、大海を超えて修行しなさいと。そういう事でこの本(六祖壇経)が読める訳です。

私が四十数年前、印幻先生の友人でソンサムスニムという、この方は瞑想をしたら空中に六尺上がるという。実際に比丘尼が見たと。この偉大なる禅師の禪羅針盤経典を頂き、若い時に見たら全然分からなかったけど、今はちょっと説明出来るようになりました。まず、韓国仏教曾溪宗の最高位に達した方の般若心経の解説ですね。それから金剛経、そして涅槃経、法華経、華嚴経をどういう風にみたか。それと、六祖大師様の般若心経の解説を見ましたけど、正にお釈迦様もこの通り言われたのではないかというくらい内容は深いです。これは私が道を見せる事は出来るけど、本人がそこに行かなければ、ちょっと…。ま、只管打座で到達するしかないです。でも、道を迷っているか迷っていないかは私が、分かります。

では、ソンサムスニムの私が四十数年前に頂いた禅の羅針盤ですね。これを少し解説します。やはり、「照見五蘊皆空 度一切苦厄」照見はもちろんお釈迦様のお言葉で、ヴィパッサナーの毘盧遮那仏。阿弥陀様の阿弥陀の光を通して照見と。

「照見五蘊」物質ですね。ルーパ。これを観たら南伝では仏眼を持ったと言われます。だから弘法大師様が6歳の時に、お釈迦様から筵(むしろ)に座って般若心経を聞いたと。今、六祖大師様の解説を読んだら、こんなものではない。まあ、びっくりする。

「照見五蘊皆空」確かにそう、観えます。それがどういう風に観えるのか？と。結局、高野山の舍利礼文は入我我入。ではどういう事か。これは禅定に入る前の過程。それを示しているから体験が無ければ分からない。入我我入でおしまい。天台宗の観禅ではこう言っている、「入流」流れに入ると。流れに入って、その流れによって心の中に入って行く。ここは秘密ですから発表しません。どういう風に入るか。皆さんがその域に達したら私が指導します。

そして「入中」。この入中という心の中の大世界があるのです。そこで毘盧遮那仏の本体に出会います。入って、そこから色んな所を周りながら、結局仏界の中に入って行く。そして、「棺桶の底が落ちた時に花が開いて仏を見る」と。まさに、そういう風にし表現出来ない。で、苦厄という事が分かります。これが入我我入の状況です。

文字の世界では絶対に到達出来ません。不立文字の世界。もちろん、公に言っても良いけど、教外別伝と言って、こういう事を私がベラベラ言ってしまったら、大変な事になると思う。只、入我我入でもこういう事なのです。

六祖大師様が解説した般若心経はまあ、まあ大変な事で。「色即是空 空即是色」の色。カシナの瞑想法で大事なのはまず、白赤黄青、この四つの色を解説でちゃんと示している。護摩焚きやる時も、四方にこの色を飾ります。分かれているようで分かれていないのです。実は一体化している。難しく考えれば到達出来ないけど、何も考えないでやれば、そこに到達します。という事を六祖大師様が言っている。

そして、やっぱり私とその昔、無所得という事を説明したけど、どうしてもそれを通過しなければ、涅槃の世界の阿耨多羅三藐三菩提の世界は見えないと。偉大なるソンサムスニムが言っています。

また金剛経ですね、自分の色形に囚われたら、これは邪道であって、仏を見る事は出来ない。一切は夢の幻の泡の影のようなものであると。こういう事を見た時には即見如来と言います。という風な私達は幻の世界で生きているわけです。

では涅槃経の中ではどういう風に言っているかと。「消滅滅已 寂滅為樂(しょうめつめつち じゃくめついらく)」。生死を離れた時に消滅滅已、そういう **Tranquility** (トランキリティー＝静寂、平穩、落ち着き)。日本語ではなんて言ったかな？捨てる者、寂と言っていますけど。それは俗世界の垢が全部取れて、だから、楽になるわけです。その時空があります。その時空で座って行けば、今言ったような状況が発生するわけです。

法華経は何と言っているか？いつも寂滅の世界に入りなさい、座りなさいと。それが仏道の生き方でありますと。私とその前に、「空華」と。法界図を説明したけど、「法性円融無二相 諸法不動本来寂」と。正にその通り。「一中一切 多中一 一即一切 多即一 無量遠劫即一念」を体感します。これが法華経。確かにその通り。

華嚴経はどう言っているか？百億の普賢菩薩が歩けば百億の世界が同じく動くと。マルチバース、沢山の宇宙。今は科学的にどうもそれしかないとなっております。で、私がよく言う「一切唯心造」、これが華嚴経の教えで。この世界をしっかりと見なさいという事です。

それでは、六祖壇經の第二品、般若品ですね。これをちょっと解説しますね。これを全部解説やれば数時間かかってしまうから、大体のところだけです。

「善知識の方々、聞いて下さい」と。「見性というのは誰かに助けてもらって得るものではない」と。よく勉強もして自分で知らなければならぬ。それを持ってそこに行けば、見性が、見る性ですね。これが一番大切だと皆さんに何度も話しました。「これを誰かに教えてもらうというのは間違いである」と。「頭で見えるものではない」と。

「仏性とはあれやこれやと差別的では見えない。只、縁によって迷いと悟りが発生するので、これは同じである」と。「愚があるから般若＝智慧がある」と。「この事を摩訶般若波羅蜜法を今から私がお話します」と。これは要約して言っているだけです。これを全部詳しくやれば時間がかかってしまうから。

「善知識の方々、よく聞いて下さい。一日中口で『般若、般若、般若・・・』と言っても不識。つまり理解出来ない。自性般若依は実際に般若は自分の中にあるから、口で只、一生懸命やってもこれは無理だ。いつも腹いっぱい食べても、いつも腹が減っているような事で。万劫を修行してもこれでは仏を見る事は出来ない。無益な事でありませう」と。

「摩訶般若波羅蜜というのは、これは金剛で大智慧到悲願＝心の心経、心の行の事であって、口で唱えるだけでは、これは只、不行。それこそ正に幻泡影のかげろう。又は如露亦如電の露の如く。本来の仏性からかけ離れた事になります。」と。

何故、摩訶、摩訶？と。これは心の大心。大というのは想像できないほどの大宇宙よりも大きい。大心経広大如虚空の世界。この虚空の世界は、天文学者が言う宇宙、ブラックホールとか、それ以上の世界。その虚空と空とはまた別。繋がっていますが、別。虚空は全てを統括して。サンガ、大海、人間、大宇宙の全てを入れてしまいます。と私達の心は一体化しているわけです。虚空無量辺遠劫。虚空の世界はこれが内と外とか、その際が無いわけです。

「円大また大小、また青黄赤白でも無く・・・」これは物質の事。カシナ瞑想の色の世界でも無いと。カシナ瞑想法は 10 の瞑想法の物質の世界です。その事を言っています。これは南伝だけが教えるものであって、天台宗では特別な人にだけ教えるものであるかもしれない。というのは、さっき述べたように観禪をやっているから。私は天台宗に入って修行していないから分かりませんが。

「又無上、上も無く、下も無く。長短も無く。又、無心無喜、喜びも無く、これがあれだ、非でも無く、善でも無く、悪でも無く、頭も尾も又無く、諸仏、節度、人道虚空の世人妙正本空が本当の本空で」。さっき言ったお釈迦様の骸骨の頭頂部、頭骨が 2014 年に発見されて、四十億の仏がその中にちゃんと刻まれていると。

「善知識の方々、よく聞いて下さい。世界の虚空は、よく全てを含む物質界の日月山水草木・・・大世界の事ですね、この心というのは大虚空、虚空と心は一体化しているから。これが摩訶般若波羅蜜多の摩訶。これが実は私達の心。だから心は自由自在にガーンと廻る。正に不思議な世界を見てしまいます。これが実態なのです。私達の世界も幻の世界です。一切はこれと言ったものは一つも無い。今、世界が末期状況になり始めていますけど。

で、さっき言った法華経でも書かれています。一切一即。即一切。ちゃんと法華経

の真髓を唱えている。一念無量遠劫という事。時空を自由に行ったり来たりしています。

この般若智、この自性、誰からも影響を受けない。只、外から間違った錯覚でこの心性が閉ざされますと。一心一切、一切一即一即一切。この一心一切の心々の心がとても大事だと。自分が虚空になるとかそういう事は意味のない事です。

この摩訶般若波羅蜜は最高の第一、無上呪、三世の諸仏は全てこの中から、大智慧をもって、五蘊の煩惱を破壊して、この行を成して仏道に入ります。又、三毒。貪瞋痴は戒定慧で完全に浄化されて、この八万四千の法門を一般の方々は智慧を得て、進んで下さいと。

見性を得るという事は一切の禅法の元で、これで知識が良く発揮します。知識が良く出て来ると。三世の諸仏は中入無縁、どうして生まれて死ぬか、その因縁ですね、因縁の事を私達は修行させられますけど、何回も説明しました。

だからこういう風にヴィパッサナーで観た時に、一瞬にして全ての妄想が消えますと。で、この観正観禅、ニミッターによって観る事に依って仏の世界に入って行こうと。そしてこの智慧によって、プラジュナパラミタのプラジュナ。で観る事に依って内外をよく照らし、自分の心をよく観る事が出来ると。で、即解脱、般若三昧、般若の定、即是無念。何も考えない。私はよく第四定禅やっていますが、そこでは考えないで、只定に入っていて、ずっと座っていたら、そこでパンッと知らせが来る。何も来ない時もある。アーチャン・チャーが「蜘蛛が蜘蛛の巣で獲物を捕まえるようなもの」と。身体の状況に依っても違いますから、ま、そういう風にしています。

一切の法は心を汚す事も綺麗にする事も、又それから離れて、一切から離れている。只、綺麗な浄本心、六識がここから出ていると。ま、ここが大事な所でパラパラッと説明しましたが。これが決議品とか長々とあるから、後は四方山話で。

五蘊は幻。幻は一体何なのか？ 一体何処に本当の事があるのか？ 「法性円融無二相 諸法不動本来寂」と。結局、あれこれと言っても。これだけ般若心経を深くお話されて。この第二品の所を掻い摘んで話しましたが、やっぱり体験上、その通りです。只、皆さんの心に全てがあるので、若い時から続けて行けば、こういう世界に出会えると思います。



質疑応答 1

【Fさん】

入我我入について、これはチャクラと関係あるのでしょうか？

【水源禅師】

関係ない。チャクラは端っこのような話で、身体の仕組みの事であって。入我我入はもっともつと凄いい、心の真髓の所へ入って行くから。チャクラも心で観える。外から観るだけの事であって。只の流れを観る。エネルギーは似ているけど。入流という、現象はクワントム(量子)の世界で、もっと深い所へ行きます。ま、体験するしかない。

【Fさん】

チベット仏教では頭頂部から意識が出て行けば、阿弥陀の世界に行けると聞きました。関係があるのかな？と思って質問しました。

【水源禅師】

修行して行けばね、頭から光が出て来るわけ。修行している人から見れば、すぐ分かるけども、一般の人には見えない。丁度、花が咲くみたいになるわけです。それくらいの力があれば「阿弥陀の世界に行きたい。」と思えば、行けると思います。お釈迦様がよく、「頭から灯を出す」と。そのこと。人間には見えないけど、修行している人にはフワ〜っと。オーブのように、発生します。

質疑応答 2

【Sさん】

2014年にお釈迦様の頭頂部の舍利が発見されたという話について詳しく話してください。

【水源禅師】

牛の首の山という、牛首山で発見されて。その為に巨大なお寺を造って。その映像をWさんに送っていますので。それを皆に送ってあげてください。

[南京牛首山佛頂宮, 存放全球唯一佛頂骨舍利, 40億打造の牛首山! \(youtube.com\)](#)

それはそれは、莫大なお金を使って。地下にお寺を造ったのです。いやー、中国の人はよく見ているなど。天界の世界を観る事が出来ます。

【Sさん】

中国で発見されたのですね。

【水源禅師】

宋の時代にアショーカ大王の所有だった頭頂舍利が贈られて、最近発見されて。2500年前のお釈迦様の頭頂部、頭蓋骨の一番上の所。顕微鏡で視たら、40億。結局一つの結晶体に五仏がちゃんと入っている。結局、大梵天王問佛決疑經の五仏。それで、チベット仏教では必ず五つの仏を頭に飾っている。その通りなわけです。

昔からそうですけど、海外に居る中国人は広大なお寺をあっちこちに造っていました。何故かと言ったら、良い所にお布施すれば、良い事があると体験上、分かっている。その動画をみてください。ショックを受けますよ。これだけのお金を使って造るのか！と。

【Sさん】

五つの仏とは？

【水源禪師】

丁度造りがボルブドゥールもそうでしょう。四つの仏に囲まれた宝塔があるでしょう。そういう事です。南伝でも、カクサンダー、コーナガマ、カシャパ、ゴータマ、外に向かって飾って、真ん中は毘盧遮那仏が法身。だから、五。五つ。

大乘では外に飾って、真ん中にお釈迦様の、塔があつて。ま、その動画観られたら良いと思います。

質疑応答 3

【Fさん】

最近、SNS に六祖大師様の即身仏の写真が、本当に生きておられるような・・・

【水源禪師】

そうです。そこで私が六日間、一日に一時間半座りました。普通は中に入れません。慧能様が真ん中で、左側に愍山大先生、右側に虚雲先生が座っています。三体。同じ衣装で座っています。

場所は南華寺。913年だったかな。唐の時代の皇帝から、その号をもらったお寺で。元々505年の時は宝林寺。名前が何回も替わっている。

質疑応答 4

【水源禪師】

(Iさんに向けて) 身体の方は大丈夫ですか？今は無理しないように。

特に、虚雲先生は120歳で、一日三時間半しか眠れない。後は仕事して。

【Iさん】

120歳なら、先生も当分大丈夫じゃないですか？

【水源禪師】

私はもう(笑)。早く弥勒菩薩の待つ兜率天で修業したいと思っているんだけど。とい

うのは、この六祖大師様の経典に出会って、仏に出会ったらどれほどの高德をもらうか。これを説明したいのだけれど、説明することが出来ない。というのは、私はこの次元じゃなくて、そういう次元があるわけなのです。そう言う不可思議な次元が在るから。そういう所で出会っているから。

特に私はエチオピアに呼ばれたり、それからアフガニスタンに呼ばれて。大変なご褒美をもらうわけです。本当の知識、世界を観る事が出来るのです。実はインドの大神様も知っているわけです。会った事も無いのに、私を知っているわけ。精神界の世界は想像を絶しますよ。私達は 50~100 年の知識でいじりまわしているけど。こんな事したら、皆病気になるなあとしか思えない。

それに、アメリカ政府の動きをみたら、これは完全にAIがやっている。AIに人間がコントロールされている。人間界では出来ないようになっている。伝達とか。だから、AIに全部やられているから、そこでおかしくなっている。

ボルブドゥールの遺跡に行った時に、過去の遺跡が作動しているわけです。作動している。だから、ペルーの山奥の巨大な石で出来ているお寺も作動しているわけです。

只、私達は今、チップス(半導体)だなんだ言っているけど。30年前は紙が無い世界は考えられなかった。今はもう紙を使わなくなっている。

だから、私達はどれだけ化かされるか分からない。化かされている。今、物理学者が新しい革命が必要と言っているけど、それよりも、只々、只管打座で座って行けば、良い所へ行きます。という事で、天界は見えて知っているわけです。「そんなものは無い！何をやっても良い。」それは絶対に無い。

だから、これだけの凄い経典をもらえらるとは夢にも思わなかった。YOUTUBEでも観れますけど、この部分はない。(六祖壇経を手にとって)六祖大師様、愍山大師様、これは若い時の虚雲大師様で、やっぱり赤い衣を着て座っています。私は全く知らなかった。

ボディダルマさまから、慧可、僧璨、道信、弘忍、慧能。六祖円寂。そこから丁度 1300 年後のお祭りの時に六日間、座らせて頂いた。もう、参拝客が押せ押せでしたよ。私は一般の人は入れない中に、堂々と案内されて。因縁なのですね。全ては因縁。

過去七仏偈の兀兀不修善。善も悪も無く、只、因縁だけだという。

兀兀 不修善 (こつこつ ふしゅうぜん)
騰騰 不造悪 (とうとう ふぞうあく)
寂寂 断見聞 (じゃくじゃく だんけんもん)
蕩蕩 心無著 (とうとう しんむちやく)

過去七仏偈 (かこななぶつげ)

だから、一切の事は何も要らないわけ。だから、虚雲先生も三朝の国師に成っているわけです。中国では映画も作っている。だから昔から言われている、仏教弾圧とか宗教弾圧とか全部嘘。完全に開放。それから、ベトナムも周ったけど、やはり宗教を大切にしている。何故かと言ったら、その昔アメリカがベトナム戦争を仕掛けて、それに打ち勝ったのはカオダイという宗教。中国の道教と儒教を取り入れ、世界の宗教を取り得た

ような教えで、予言が出来るわけです。この主教団体が「アメリカ軍が戦車でここから攻めて来る」と。で、事前に穴を掘っておくわけです。そこにドコドコ落ちて行くから、前に進めないわけ。後ずさりしたら、攻撃されるから、それで全滅。

だから今、ロシアでもオーソドックスなキリスト教、ビザンチンから出た。熱心にプーチンがサポートをしている。その本山がトルコにあるわけ。ビザンチン王朝からずっと続いていて、今でも破壊されていない。そこは聖ジョージを祀っているわけです。その昔、フランスとドイツが戦争をして、イギリスがフランスと一緒にドイツと戦って、ビスマルクが負けましたけど、その時、聖ジョージが白い馬に乗って駆け巡って、その後イギリス軍とフランス軍がドイツに打ち勝ったみたいです。

その聖ジョージはエチオピアの守り神なのです。だからそこに行っているわけ。ウーラリベラーという十字に巨大な石を削って、十字架の建物があるのです。前に説明しました。そこで巻尺で測ったら、その建物のメジャー（計測単位）ね、2.45 mmのアメリカのインチ使っている。それはまだアメリカが建国する前に、アメリカのインチ使っているわけ。だから、今のアメリカも、こういう生命体にやられているはず。



ウーラリベラー岩窟教会遺跡

今、西洋では仏教に対して非常に興味を持っている。人間は皆、戦争が嫌いなのです。人殺しも嫌いなのです。静かな平和な時間を持ちたいと。やっぱり私の人生の最大のご褒美は、座禅をした事です。今は悠然と一時間半楽しく座っています。その世界はお金じゃ買えないです。や一本当に続けてください。凄いご褒美。何とも言えない時空に入って行くから。

ま、あまり無理しないで、30分で良いです。これはね、どんなにお金を使っても何しても、この世界は自分だけしか入って行けない世界。マッサージとかそんなものじゃないよ。身体全身がサーっとなって来るから。それがいつも続けば良いけど、「あ。今日はダメだったなあ」と。ま、そんな感じで。上手く行った時は、もう全部調和が取れて。二日続けば、「調子が良い！」と。お金がかからないからね。只座れば良いだけだから。人に迷惑もかけないし。

その内、Aさんの所で、皆で瞑想出来るかも知れない。意外と近いから。エクアドルからは遠いけど。ネパール良い所ですよ。「ネパールどうですか？」ってBさんがお勧めして下さい。お釈迦様の生まれた所で。Aさんの所はキングアショーカの娘が嫁いだ街で。凄い因縁というか。だから、この一乗会の方々は本当に幸せですよ。

来年の11月を目指して身体を治してください。

【Iさん】

インドの仏跡を辿るお話ですか？

【水源禅師】

はいはい。四大聖地。私は一月か二か月前に先に行って、龍樹菩薩のお寺が在ると言うから、どうしてもそこを訪ねてみたい。私も相当、龍樹菩薩と関係があるのです。

【Iさん】

佐々木秀嶺さんが発掘されているという。

【水源禅師】

そうそう。今年は無理だけど、来年、早めに行って。出来れば、私の奥さんも一緒に、10日間くらい、そしてエクアドルに行こうかなという感じで。私は数え年で今年79。来年は80歳。その後はもう、あまり動かないで、ここエクアドルかカナダ。

【Iさん】

もう少し、なんとか身体を治して。

【水源禅師】

身体を冷さないでください。食べ物も栄養のあるしっかりとしたものを食べてください。

ここエクアドルでは本当に安価でふんだんに食べられますけど。果物が豊富で安いから。ここでは朝、フルーツが沢山出ます。考えられないくらい安い。魚も豊富で。100円で6匹くらい大きな魚が買える。

【Iさん】

本当に豊かな国なのですね。

【水源禅師】

ここで半年暮らしたら、身体がすぐ治ると思う。最高に新鮮な焼き魚でも食べたら。魚は不思議な力があって、身体にとっても良いと思います。それと果物と。



エクアドルの新鮮なフルーツと魚介類

事務局より

【事務局より】

皆さんには虚雲大師の動画で 20 話あるうちの第 1 話と牛首山の寺院の動画の YOUTUBE のリンク先をお送りしています。ぜひ、ご研鑽して欲しいと思います。

[南京牛首山佛頂宮, 存放全球唯一佛頂骨舍利, 40 億打造的牛首山! \(youtube.com\)](#)

[《百年虚云》第 1 集 禅門宗師慈悲濟世 再現一代高僧傳奇人生【CCTV 電視劇】\(youtube.com\)](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=bvPjIRLyIhI> (六祖壇經の全文掲載)

【水源先生】

六祖壇經は難しいからね。分からなくても大丈夫。非常に深い事を書いている。虚空と言ったって、体験したら凄い。体験するしかない。さっき説明した入我我入も、もっと説明した方が良いでしょうけれども、あまり詳しく説明したらどうかな？と思って。只、そういう世界がありますという事で。深層の世界です。

不動明王様は心の奥底に住んでいる。仏はそういう状態です。だから一切唯心造で、この私が居る世界がしっかりとした世界と思っているけれども、これは幻の世界。を心の中で造り上げている。逆転して。だから私達はほとんど化かされて無駄な事ばかりしている。

質疑応答 5

【Y さん】

今、食べ物の事で、日本が大分おかしくなっている。

【水源先生】

これは世界の影の政権で、動きを見たら、AI で操作して、結局ウクライナを攻めたのも、世界の 30 パーセントの食料を生産できるから、それをブラックロックが全部買い占めて、ウクライナの黒い大地ですね、肥料をやらなくても育つ。

このエクアドルは凄く安価に出来ているわけ。特に最近発見されましたけど、その昔、スペインがエクアドルから探検隊を入れて、アマゾンのジャングルに行ったわけです。その本をトロント大学の図書館から借りて読んだけど、その時はアマゾンジャングルのあっちこちに五万人の大都市があったと。その頃、4~500 年前、ヨーロッパでは最大の都市がイングランドのロンドンで五万人。その本を書いた牧師さんは、「この人は多分、麻薬をやって頭が狂ったのではないか？」と言われて。というのも、その後で行ったら、誰も何も居なくなっていたわけ。

だから、ここエクアドルも相当アマゾンジャングルがあるから、だから、特にサリーナは魚がどんどん捕れるから、干し物にして日本に送っても良いし。お米の生産もしているのだけれど、日本のような美味しい米ではないのですよ。だから、そういう事でもう、日本の方は相当貢献できると思いますよ。

【Yさん】

皆さんはご存じないと思いますけど、日本は食糧危機が来ると言われていて、政府が決めた作物を作らない場合には罰金を課して、地方自治体の作った条例とか全部無効にするという、戦前の復活に近いものが今回、閣議決定されたので、自民党が可決します。それが全く報道されないといのも怖いと思っています。

【水源先生】

沢山は助けられないけど、少しでも交易して助けられるかもしれない。今は戦争状態で、世界は大体500年政権なのです。中国も500年、500年で代が替わって。海洋帝国のイギリス、ヨーロッパは滅びようとしているから。必死なのです。

ウクライナを攻めたら、ロシアが獲れるから。ロシアが獲れたら膨大なエネルギーや資源が手に入るから生き返るわけです。全ては金。

それで、100年前の偉大な経済学の本を読んでみたけど、1914年～23年のデータを見たら、正に一緒。変わらない。同じサイクルで。私達は100年前の文献も見る事が出来ないから、ただ暗中模索で。ところが、ちゃんと書いているわけです。それを只やっているだけです。繰り返して。繰り返して。人間は、それを変えるだけの力も頭もないみたい。只、サイクルに任せて。

これからの西洋の予測では中南米が一番安定すると言っています。第二次世界大戦の時も中南米は安定していた。ま、そういう事で。エクアドルに遊びに来たら、見聞して何か役立つかもしれない。

【Yさん】

ありがとうございます。

質疑応答 6

【Sさん】

今、日本は NISA、NISA で。投資しろ。投資しろと。世間ではとにかく、投資して自分の財産を老後に備えて増やしましょうとやっていますが、危険ですよ？

【水源先生】

それは危ない。今から半年前だったら良かったけど、売って逃げなきゃダメです。それを金が銀に替えるしかないです。不動産は危ない。お金の余裕があれば、食料。これから、アメリカはハイパーインフレーション。結局100年前の文献読んだけど、同じパターンでやっているから。ウェルマー経済と言って、手押し車に札束積んで、卵一個しか買えないという。そこまでは行かないと思うけど、自給自足できればそれで心配ない。

虚雲大師様は山で一人で暮らして、1950年～55年。只、山の山菜を煮て食べるだけで。若い時に修行した時はそんな感じです。食べる物が無くなって、後はサツマイモ。サツマイモの皮を食べていた。苦いけど。だから、あんまり深刻に考えないで。塩とお米があれば生きて行けるから心配ない。お米があれば贅沢。お粥も私は大好きで。

【Sさん】

虚雲大師様についてももう少し詳しく話してください。

【水源先生】

虚雲大師様は清朝の時代に皇后様から呼ばれて、「どうしたらいいか良いか？」と。英軍が攻めて来て、「危ないから西安に行きなさい」と。ところが、その土地は大変な病気が流行って危なかったのだけれども、360人を同居させて、108人は七日七晩、座禅させたわけです。そうしたら大雪が降って、絶対に振らない九月なのに。その後、病気が消えてしまったと。

国民党、今の台湾ですね、蔣介石が「これからどうしたら良いか？」と。毛沢東も招いて、いろいろ相談したみたいだけれど。だから、今の中国政府は、昔のように弾圧しないで、お坊さんに給料まで出している。認め始めていますね、世界が変わり始めている。

世界をグルグル周ったけど、私達は架空の世界で生きている。日本は日本の世界。他は他の世界。だから、お釈迦様の言われる通り。だから、ここエクアドルで仏教の話をしよとしたって、話のしようがない。

その昔、達磨大師様がインドから来られて、そして慧可様にインドのウパニシャッドを教えて帰られた。それで今、世界に仏教が伝わっている。今、アフリカまで行っているね。でも、なかなか本当の、この経典に書かれている所までは難しいと思うけれど。

何れにしても、只管打座で座って行けば、凄い世界が見えるから。この高德が必ずあなただけじゃなく、家族から皆、良い高德を受けるから。これがなく只、遊んで暮らしたら良い事無いですね。

皆さんは死ねば終いと思っているでしょう？違うのですよ。死というものは無いのです。只、身体が変わるだけ。身体が変わって昆虫になるのか。犬になるのか。人間になるのか。身体が変わって天界に行くのか。暗い世の中に入って行くのか。それは止めた方が良い。だから、兀兀と。兀兀不修善でやっていけば大丈夫。

というのは、皆さんは仏に成る資格を持っているのだから全部。迷う事は無い。只、過去の因縁に依って苦があるけれども、知らんぷりしてそのまま修行して行けば良い。ま、そういう事で。



インドのカーリー神

インドには偉大な女神が居るのですよ。名はカーリーと言ってとても有名です。私はインドのカーリー様から招待されている。本当に。実はこのカーリー様はとても綺麗な方なのだけれど、物凄い悪魔のような顔をして描かれていますが実は違います。

そこに呼ばれているから、そこにも行かなければいけない。(Aさんに向けて)あなたはネパールで生まれて、ヒンズーとも関係があるから、そこに私と一緒に参りをしたら、凄い幸運、良い事がありますよ。

【Aさん】

ぜひ、お願いします。

【水源先生】

特に、カーリー様の金で出来たお寺があるのです。其処に招待されている。そうしたら、あなたの家族に凄い供養が出来ます。カーリー様はインドで凄い力を持っていて、生きた人間と一緒に居るのです。只、場所は天界に居るから。

【Aさん】

ナモブッダ(ネパールの仏跡)の夢をよく見るのです。

【水源先生】

ナモブッダ。あそこはチベットの方の説明では、ブッダに成る前にそこで最後の修行

があったわけです。ナモブッダに五匹の赤ちゃん虎が居て、お母さん虎の乳が出なかった。お釈迦様が菩薩の時に、三人の王子様の末っ子で、その時に、「この虎を助ける事は出来ないのか?」「いや、誰も助ける事は出来ない」と。「では自分の身をお母さん虎に食べさせたら良いのではないか?」と言ったら「そういう人はこの世に誰も居ない」と。で、お釈迦様が兄弟二人を先に返して、その後、手を出したけど食べる力が無いから、お釈迦様は木の枝を取って、自分の手を切って血を舐めさせて、五匹の赤ちゃん虎が助かったわけです。それが、最初の法を説いた五人の阿羅漢なのです。で、ナモブッダという塚がネパールにあります。其処はチベット仏教の方が護っています。そして、そこは6千年前と言っています。6千年前にお釈迦様が菩薩として最後に生まれた時、その時のお釈迦様の骨が其処にあると言っている。その時のお釈迦様のお母さんは気が狂ったわけです。自分の第三王子が虎に食べられた!と。でも、その時、お釈迦様が天界から「心配しないでください」と。その時、最後の菩薩行を終えたわけです。

だから、仏に実際に会えるというのは大変な栄光なわけです。そこで心から信念とサツダー、サティ、こころからお釈迦様を信じると、もうそういう風に出会ったら、必ずすぐに天界に生まれるかアラハトに成るか。だから、心というものは凄いものです。という事をこの般若心経で説明している。ここで、こういう風に説明された方は居ないわけです。ここ(六祖壇経)に書いている事を私は只、言っているだけです。私が凄いのではなく。だから、結局、心なわけです。全て心。宇宙も心。もちろん、インドの偉大な方々も熱心に心を修行しているわけです。

だから虚雲大師様はインドのグルと一緒に。実際に山に入って、草木を食べて修行したから凄い神通を持っていた。インドでも、ヒマラヤで修業して。ヒマラヤというのは白い雪の事。ヒマラヤは阿頼耶識。その時空がちゃんとあります。その時空に入ったら、其処から何でも、人間界を動かす事が出来る。只、それは良い事にしか使わない。良い因縁を作ると。良い因縁を作れば、良い結果が出て来る。悪い因縁を作れば悪い結果が出ると。だから、その世界では、絶対に良い事しかしない。

仏教とヒンズーは非常に密着して、中国でも道教と儒教と仏教を如何にして繋ぎ合わせるか。虚雲大師様もやっぱり、チベット仏教と座禅を繋ぎ合わせようとして努力した方です。だから、宗教には壁が無いわけです。良い事だけが人間に発生するように。生きている全ての生命体に。

一つ覚えて下さい。お釈迦様がネパールで生まれなかったら、この世は暗黒で、私達はどうなっているか分からない。それだけ、偉大な所でAさんは生まれたのです。凄い因縁です。それもキングアショーカの第三王女が来られた街で生まれたというから。これはまた凄い事。凄く良い因縁です。一緒にカーリー様の金色の寺院にお参りしたら、啓示が来ると思います。ここでは言えるけど、普通の人には言えない体験をいっぱいしているのです。本当の事を話せばキチガイになるから(笑)。ある程度で止めておかないと。この世は悪世の世の中だから、早く、戒定慧の世界に入っていけば、必ず良い事がある。他は全部捨てても構わない、何も良い事は無いから。ま、そういう事で。



水源禅師法話集 125

(2024年3月3日 web 法話)

2024年5月28日発行

編集兼発行 一乗禅の会